

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第33期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社フライングガーデン
【英訳名】	FLYING GARDEN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野沢 八千万
【本店の所在の場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第1四半期累計期間	第33期 第1四半期累計期間	第32期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	1,703,848	1,706,238	6,943,307
経常利益(千円)	5,723	5,437	21,922
四半期(当期)純損失()(千円)	6,089	5,945	131,067
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	579,900	579,900	579,900
発行済株式総数(株)	1,449,168	1,449,168	1,449,168
純資産額(千円)	1,358,959	1,184,629	1,233,946
総資産額(千円)	3,774,318	3,636,093	3,767,267
1株当たり四半期(当期)純損失金額()(円)	4.21	4.11	90.66
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	30.00
自己資本比率(%)	36.0	32.6	32.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在あるいは、リスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もあります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による各種政策への期待感から円安・株高へ転じ、景況感は徐々に改善されつつあります。一方で、海外景気に対する不安感や国内における円安進行による原材料価格の上昇などの懸念があり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましても、依然としてお客様の生活防衛意識は高く、外食控えや利用店舗の選別が行われるなど厳しい状況が続いております。

このような環境下で、当社は爆弾ハンバーグの販売強化を継続して取り組んでまいりました。「爆弾祭」の継続実施及び爆弾コンビメニューの投入等を行いました。出退店につきましては、当第1四半期累計期間中には行いませんでしたので、当第1四半期末の店舗数は前期末と変わらず67店舗でした。

当第1四半期累計期間の業績につきましては、爆弾コンビメニューの投入などの施策を行った結果、売上高は若干ではありますが前年を上回り1,706,238千円(前年同期比0.1%増)となりました。利益面では原材料費の上昇等もあり、当第1四半期累計期間の営業利益は6,732千円(前年同期比4.3%減)、経常利益は5,437千円(前年同期比5.0%減)と微減となったものの、四半期純損失は5,945千円(前年同期は四半期純損失6,089千円)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対応すべき課題において重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,449,168	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	1,449,168	同左	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式は100株であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	1,449,168	-	579,900	-	496,182

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,400	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,423,500	14,235	同上
単元未満株式	普通株式 22,268	-	同上
発行済株式総数	1,449,168	-	-
総株主の議決権	-	14,235	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フライングガーデン	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号	3,400	-	3,400	0.24
計	-	3,400	-	3,400	0.24

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人A&Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	548,704	474,838
売掛金	31,091	27,169
商品及び製品	2,086	1,501
原材料及び貯蔵品	30,615	34,145
その他	123,207	120,664
流動資産合計	735,704	658,319
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,499,430	3,501,060
構築物	828,070	828,070
その他	905,051	905,888
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,433,644	3,478,564
有形固定資産合計	1,798,907	1,756,454
無形固定資産	186,142	190,679
投資その他の資産		
差入保証金	502,376	493,350
その他	582,981	575,015
貸倒引当金	38,845	37,726
投資その他の資産合計	1,046,512	1,030,640
固定資産合計	3,031,563	2,977,774
資産合計	3,767,267	3,636,093
負債の部		
流動負債		
買掛金	209,110	176,242
短期借入金	290,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	307,296	306,296
未払金	284,792	289,743
未払法人税等	46,334	14,114
ポイント引当金	10,270	9,900
賞与引当金	33,084	15,501
その他	104,862	169,012
流動負債合計	1,285,750	1,280,810
固定負債		
長期借入金	829,674	753,850
退職給付引当金	100,889	99,962
役員退職慰労引当金	145,236	146,539
資産除去債務	117,575	118,192
その他	54,195	52,109
固定負債合計	1,247,571	1,170,654
負債合計	2,533,321	2,451,464

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	163,342	114,025
自己株式	5,478	5,478
株主資本合計	1,233,946	1,184,629
純資産合計	1,233,946	1,184,629
負債純資産合計	3,767,267	3,636,093

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,703,848	1,706,238
売上原価	529,731	547,733
売上総利益	1,174,117	1,158,505
販売費及び一般管理費	1,167,080	1,151,772
営業利益	7,036	6,732
営業外収益		
受取利息	875	778
受取賃貸料	9,207	9,493
その他	1,441	1,468
営業外収益合計	11,524	11,740
営業外費用		
支払利息	5,196	4,700
賃貸収入原価	6,813	7,125
その他	828	1,210
営業外費用合計	12,838	13,035
経常利益	5,723	5,437
税引前四半期純利益	5,723	5,437
法人税、住民税及び事業税	9,821	8,197
法人税等調整額	1,992	3,185
法人税等合計	11,813	11,383
四半期純損失()	6,089	5,945

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	47,067千円	48,224千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	43,373	30.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	43,371	30.0	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ファミリーレストラン事業の単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	4円21銭	4円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	6,089	5,945
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額() (千円)	6,089	5,945
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,780	1,445,720

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 5日

株式会社フライングガーデン
取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 笹本 憲一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加賀美 弘明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライングガーデンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第33期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し、適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要であると判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる情報を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライングガーデンの平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。